

「都市景観形成モデル事業」の指定を受け、旧海運跡地を公園として整備、芸術の香り高い散策路として歩道にレンガ調タイルを敷き、5体の彫刻が配置され、ざわついた世間からの解放感を与えてくれる。



呉市は、明治維新までは瀬戸内海に散在する淋しい漁村の一つに過ぎなかったが、明治十三年鎮守府が開設された。戦前は、呉市街地と海軍工廠、海軍

病院等の旧海軍施設を結ぶ道路であったこの通りは、戦後周辺が入船山公園として整備されるなかで新しく生れ変わり、歩道にレンガタイルやレンガブロックが敷きつめられ、またタウンスクエアから美術館前にかけて五体の彫刻が並び、「芸術の散歩道」ともいえる景観に整備された。

この通りは、現在「美術館通り」という愛称で呼ばれており、古くから残るマツ並木や入船山記念館などの歴史的建物との調和もとれ、呉市の歴史を感じさせる通りとして、また、芸術の香り漂う通りとして、広く呉市内外の人々から親しまれている。

データボード②④

- ① 広島県呉市幸町
- ② 呉市役所 ☎0823-25-3343
- ③ 延長210m、幅員18.5m
- ④ レンガ調タイル、マツ並木